

鶴舞地区小域福祉ネットワークだより

つるまいの きずな



令和6年4月15日 第11号

発行
鶴舞地区小域福祉ネットワーク
責任者 大井 守

令和5年度 鶴舞地区小域福祉ネットワーク活動報告

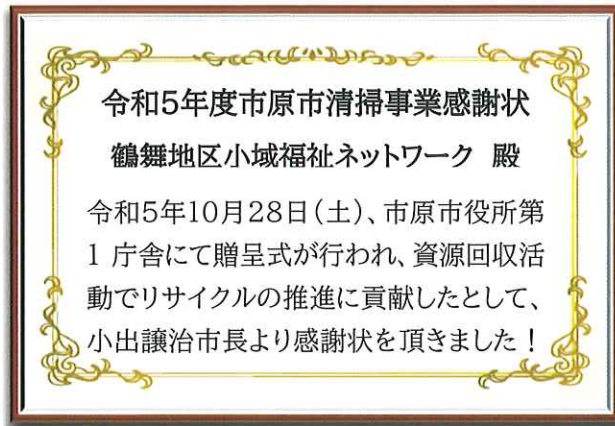
本ネットワークは約80名のボランティアで構成され、主に5つの部会で活動しています。令和5年度の概要と活動総数は以下です。



環境部会(資源回収活動)

毎月第二土曜日の早朝、町会長や有志など担当者が各家庭を回り、新聞と雑誌類を回収し、資源処理業者に買い取っていただきます。売却金のほとんどは福祉活動に充て地域に還元しています。

総回収量	45.05トン
売却額	192,930円
資源回収対象家庭	514軒



高齢者部会(安心訪問員活動)

講習を受け認定された訪問員が、独居高齢者などで希望する方に対し、定期的にお宅を訪問して安否確認と同時に相談にも応じます。

対象者数	49人
訪問員数	26人

学校部会

(鶴舞小学校児童の下校時安全見守り活動)

毎月第三木曜日の下校時に鶴舞小学校に集合し、下校する児童と一緒に行動しながら見守りをを行います。

見守り回数	10回
活動延べ人数	92人

防犯部会(薄暮時の防犯パトロール活動)

薄暮時に旧青年の家に集合し、「パトロール中」のステッカーを貼った2台の車に分乗、地区内を巡回しながら安全を確認します。

パトロール回数	11回
活動延べ人数	48人

広報部会(広報誌「きずな」の発行)

年2回、4月と10月に発行し、地区内の全世帯に配布しています。記事は福祉に関する情報提供とネットワークの活動報告などです。

民生委員児童委員の紹介

民生委員児童委員は、担当地区内の高齢者や児童が安全で元気に暮らせるよう気を配り相談に応じています。困ったことや心配ごとがあるときは気軽に相談しましょう。現在の委員の方々です。



委員名(敬称略)	担当地区(町会)
河津 正雄	山小川、上田尾、下田尾
深山 等	般若寺、久保代、池和田
鈴木 正夫	矢田、下矢田
中村 智子	鶴城1、鶴城2、鶴城3、大手
杉田 浩一	日枝、中部、亀井橋、南町、共栄
菅野 衛	鶴舞大蔵屋団地、富士台
麻生 テル	鶴舞大蔵屋団地
宇佐美 輝芳	黄金台、古宿
鶴岡 和之	水沢

土砂災害ハザードマップを再確認しよう

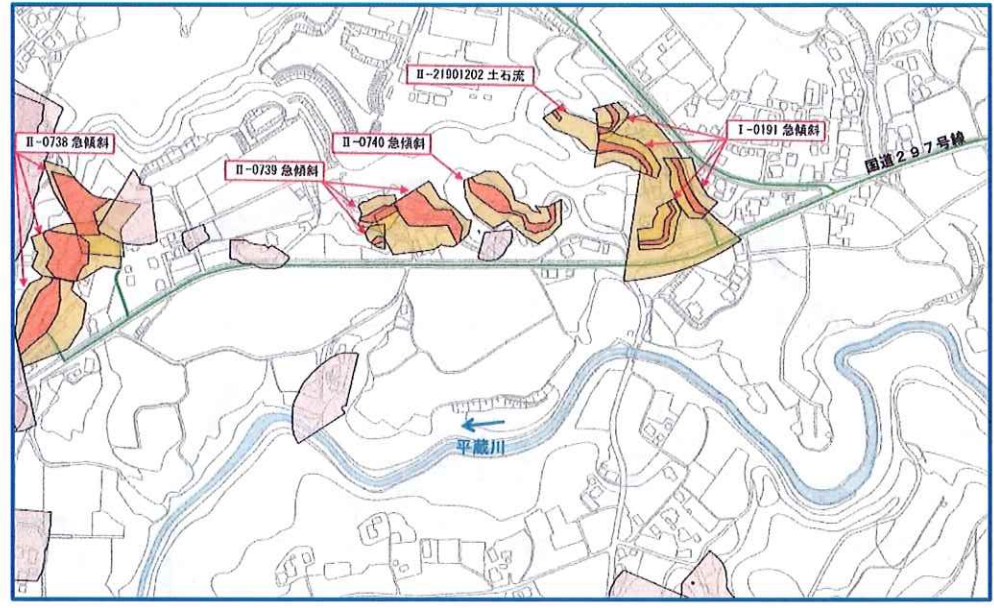


穏やかに迎えた新年でしたが、元日早々に能登半島地震が発生しました。地震災害は他人ごとではなく、何時ここ房総半島で起こっても不思議でないと言われています。この鶴舞地区は幸いに水害や津波災害の可能性は低いですが、多くの場所で土砂災害の恐れがあります。市原市では、令和3年6月に地区(町会)別の新しい土砂災害ハザードマップが作成されました。これは過去のものに比べより詳細に危険個所が示されており、土砂災害警戒区域内に居住している方や町会長には配布されています。一例として田尾地区の一部を掲載します。

土砂災害が発生した場合に被害がおよぶ恐れがある区域を示すとともに、自主的に避難される際の、避難場所までの避難経路も示されています。

さらにこれを編集した令和4年6月版「水害ハザードマップ3」(土砂災害も含む)はすべての家庭に配布されています。しかし南総・加茂地区を一枚にしてあるため詳細を知るには不向きです。

詳細なハザードマップは市原市のホームページからも見ることができ、以下の検索順で町会毎のハザードマップが見られます。



[HOME](#)>[暮らし](#)>[防災・災害](#)>[ハザードマップなど](#)>[南総地区土砂災害ハザードマップ](#)

災害時への心構えを！

南総地区土砂災害ハザードマップのページが読み込めます

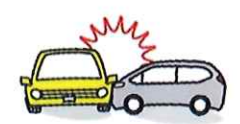
交通事故を防ぎましょう

最近、痛ましい事故がいくつも発生してテレビや新聞で報道され、社会問題となっています。特に高齢者の運転で歩行者をはねてしまったり、対向車と衝突したりする等、高齢者の運転ミスによるものが多く発生しているように見受けられます。

鶴舞地区も高齢化していますので、自身が加害者や被害者にならぬよう充分注意して生活をしましょう。



= 鶴舞地区の交通事故(令和5年11月~令和6年2月末迄) =



車と歩行者の事故	車の対物事故	車対車の事故
1件	0件	19件